
 **CEOP衛星データセット**
(DMSP_F13 > SSMI > 1BBRTE)

1. 識別情報

名称	CEOP衛星データセット (DMSP_F13 > SSMI > 1BBRTE)
版	1.0
略称	Coordinated Energy and Water-Cycle Observation Project Satellite Datasets (DMSP_F13 > SSMI > 1BBRTE)
DOI	doi:10.20783/DIAS.103 [https://doi.org/10.20783/DIAS.103]
メタデータID	CEOP_Satellite_DMSP_F13_SSMI_1BBRTE20230727055506-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	JAXA DIAS 担当
組織名	宇宙航空研究開発機構
住所	日本, 305-8505, 茨城県, つくば市, 千現2-1-1
電話番号	+81 50 3362 3064
ファクシミリ番号	+81 29 868 2961
電子メールアドレス	dias at ml dot jaxa dot jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	JAXA DIAS 担当
組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	dias at ml dot jaxa dot jp

4. データ作成者

名前	JAXA DIAS 担当
----	--------------

組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	dias at ml dot jaxa dot jp

5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

6. データ作成年月日

creation : 2010-03-15

7. データセット概要

7.1 序論

CEOP衛星データセットは、衛星オリジナルデータから等緯度経度格子ヘリサンプリングしたグリッドデータである。データ期間はCEOPフェーズ1で定義しているEOP-3、EOP-4期間およびフェーズ2の2007年以降である。出力データの対象領域は35地点（フェーズ1の場合）もしくは52地点（フェーズ2の場合）のリファレンスサイト、5箇所のモンスーン領域および全球の3タイプのスケールがある。使用している衛星データは、MODIS、AMSR-E、SSM/I、PR、TMI、AVNIR2、PALSAR、PRISM等と数多く、データセットのパラメータも大気圏、海洋圏、陸圏、雪氷圏と多岐におよぶ。

Enhanced Observing Period EOP-3: 01/10/2002 - 30/09/2003

EOP-4: 01/10/2003 - 31/12/2004

■衛星

DMSP F-13

Defense Meteorological Satellite Program

防衛気象衛星プログラム

■センサ

SSM/I

Special Sensor Microwave Imager

スペクトルセンサーマイクロウェーブ画像装置

■プロダクト

・ Product Level

L1B

・ Product Code

1BBRTE

・ Description

輝度温度

Brightness temperature

7.2 トピックカテゴリ (ISO19139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

7.3 時間情報

開始日	2002-10-01
終了日	2009-11-19

7.4 地理的範囲

北限緯度	90
西限経度	-180
東限経度	180
南限緯度	-90

7.5 グリッド

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Spectral/Engineering > Microwave > Brightness Temperature	GCMD_science

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

CEOP : <http://www.ceop.net/>

CEOP Model Output Archive : <http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/model/>

CEOP Model Output Data Gateway : <http://ceop.wdc-climate.de>

CEOP Data Management : <http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/>

CEOP Model Data Gateway : <http://www.mad.zmaw.de/projects-at-md/ceop/>

CEOP Model Center Documentation Table : http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/model/model_table.html

Multi-model Analysis for CEOP : <http://gmao.gsfc.nasa.gov/research/modeling/validation/ceop.php>

MODIS : <http://modis.gsfc.nasa.gov/>

AMSR-E : <http://sharaku.eorc.jaxa.jp/AMSR/index.html>

SSM/I : <http://ghrc.nsstc.nasa.gov/>

PR, TMI : <http://trmm.gsfc.nasa.gov/>

AVNIR2, PALSAR, PRISM : <http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/en/index.htm>

From CEOS Mission, Instruments, Measurement Database : <http://database.eohandbook.com/>

MMI Wiki (Shibasaki Group) : <http://dias.csis.u-tokyo.ac.jp/dict/mim/index.php/SSM/I>

ファイルダウンロード : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:103>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

8. 系譜情報

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

1. CEOP衛星データの金銭等による引き換えは一切応じない
2. CEOP衛星データの商用および営利目的の使用を禁じる。
3. CEOP衛星データアーカイブから受取ったオリジナルデータの第三者への再配布および転送を禁じる。
4. CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては、CEOP衛星データの出所を成果物に以下のように表記すること。2001～2004年のデータ利用においては、“本成果で利用した衛星データは、the Coordinated Enhanced Observing Period (CEOP) の枠組みのもとで提供されたものである”。また、2005年以降のデータ利用においては、“本成果で利用した衛星データは、the Coordinated Energy and Water Cycle Observations Project (CEOP) の枠組みのもとで提供されたものである”。
5. CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては、著者はその成果物のコピーを可能な限り電子媒体にして ceop@monsoon.t.u-tokyo.ac.jp 宛に提出しなければならない。

CEOP衛星データセットのデータポリシー完全版は <http://monsoon.t.u-tokyo.ac.jp/ceop2/satellite/guideline-info.html> である。

CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては、CEOP衛星データの出所を成果物に以下のように表記すること。

2005年以降のデータ利用においては、”本成果で使用した衛星データは、the Coordinated Energy and Water Cycle Observations Project (CEOP) の枠組みのもとで提供されたものである”。

また、2001～2004年のデータ利用においては、”本成果で使用した衛星データは、the Coordinated Enhanced Observing Period (CEOP) の枠組みのもとで提供されたものである”。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上発表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献